

一般

**平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)**

評価対象事務事業名		騒音・振動測定事務			事業コード	1421
担当課等	所属名	環境部 環境企画課		担当係名		
	課長名	環境部 環境企画課	担当者名	熊谷 正弘	電話番号	8419

**1. 事務事業の基本情報**

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	公害の防止	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 4款 1項 4目 公害防止対策事業(010-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和46年度～)		
事務事業の概要	一般地域、道路に面する地域、高速交通(高速道、新幹線)沿線における騒音・振動の実態とその推移を把握し、測定結果を公表するとともに、それに基づいた要請・指導を行う。					
根拠法令等	騒音規制法、振動規制法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
騒音規制法・振動規制法の成立に伴い、昭和46年から測定を開始した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民から高速交通について、あるいは市道の新設・4車線化に伴う騒音・振動発生について心配する意見、対策を求める要望等が出されている。また、建設現場や各種事業所、一般家庭から発生する騒音に関する苦情及び対応依頼も多い。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
道路に面する地域の騒音測定・評価方法について、環境省の「面的評価システム」を活用し、平成18年度から評価を実施している。						

**2. 事務事業の実施状況(Do)**

①対象 <small>(誰を、何を対象としているのか)</small>	市民 騒音・振動発生事業所 国・県の道路管理者、新幹線・高速道の管理者、公安委員会等の関係機関	⇒	②対象指標 <small>(対象の大きさを示す指標)</small>	A. 人口	単位	人
				B. 騒音・振動発生事業所	単位	事業所
				C. 国・県の道路管理者、新幹線・高速道の管理者、公安委員会等の関係機関	単位	機関
③手段 <small>(事務事業の内容、やり方、手順)</small>	22年度実績(22年度に行った主な活動) 対象ごとに騒音・振動の測定を行い、現況及びその推移を把握し、測定結果の公表に併せ関係各課、関係機関に対し環境基準遵守の要請等を行う。 市民の騒音・振動に対する意識啓発を行うため、広報、HPその他の媒体による積極的な情報提供を行う。  23年度計画(23年度に計画している主な活動) 前年度と同様。	⇒	④活動指標 <small>(事務事業の活動量を示す指標)</small>	A. 騒音・振動測定地点数	単位	地点
				B. HP・広報への掲載、環境報告書の発行、国・県への報告回数	単位	回
				C. 各関係機関への要請	単位	回
⑤意図 <small>(この事業により対象をどのように変えるのか)</small>	○測定結果の公表や指導・要請を通じて、市民の快適で安全な(静かな)くらしの実現を図る。 ○国・県の道路管理者、新幹線・高速道の管理者、その他関係機関の騒音・振動に配慮した施設・設備の設置及び改善を実現させる。	⇒	⑥成果指標 <small>(意図の達成度を示す指標)</small>	A. 各種測定の環境基準達成状況(達成件数/測定件数) 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				B. HP・広報への掲載、環境報告書の発行、国・県への報告回数 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	回
				C. 関係機関実施による施設・設備の改善内容 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	箇所、m
⑦結果 <small>(上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)</small>	環境負荷が取り除かれる	⇒	⑧上位成果指標 <small>(上位基本事業の成果指標)</small>	大気・定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位:%) 水質の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位:%) 騒音の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位:%) 振動の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位:%) 臭気の観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	人口	人	297592	297,267	297,267	298,148	298,148	298,148	26年度 298,148
対象 指標B	騒音・振動発生事業所	事業所	520	524	544	538	544	564	26年度 564
対象 指標C	国・県の道路管理者、新幹線・高速道の管理者、公安委員会等の関係機関	機関	6	6	6	6	6	6	26年度 6
活動 指標A	騒音・振動測定地点数	地点	71	71	71	71	71	71	26年度 71
活動 指標B	HP・広報への掲載、環境報告書の発行、国・県への報告回数	回	8	8	8	8	8	8	26年度 8
活動 指標C	各関係機関への要請	回	6	6	6	6	6	6	26年度 6
成果 指標A	各種測定的环境基準達成状況(達成件数/測定件数)	%	89	88	80	93	80	80	26年度 80
成果 指標B	HP・広報への掲載、環境報告書の発行、国・県への報告回数	回	8	8	8	8	8	8	26年度 8
成果 指標C	関係機関実施による施設・設備の改善内容	箇所、 m	-	-	-	-	-	-	26年度 -

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,667	2,286	2,849	1,906	2,827	2,827	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円	165	165	165	165	165	165	*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,502	2,121	2,684	1,741	2,662	2,662	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,667	2,286	2,849	1,906	2,827	2,827	*****
	延べ業務時間数	時間	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,067	8,686	9,249	8,306	9,227	9,227	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:騒音・振動の状況を監視し、市民・事業者・関係機関に環境基準を遵守させることにより、環境負荷の低減に寄与している。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:関係機関との連携の確立及び連携方法の充実により、行政・民間等の枠組みを越え、騒音・振動対策を総合的に推進できるようになる。また、測定結果を共有し、有効活用するとともに、測定地点・方法等を見直しを行うことにより、成果を向上させることができる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:市民・事業者・関係機関に対する情報提供等が無くなることにより、生活環境の保全意識が薄れ、快適な生活を営むことが困難となる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容:測定地点・評価地点の見直しにより、コストの削減が可能となる。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容:測定地点・評価地点の見直しにより、コストの削減が可能となる。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  測定地点の見直し及び測定結果の有効活用(情報公開、関係機関との連携)</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか?                  (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む)                  評価方法の見直しによって、市域全体の傾向を把握するのに一定の期間が必要となる。当面は今までの評価方法と併用し、監視の継続性を図る。</p>
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)                  測定結果の有効活用(情報公開)を図った。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容                  測定箇所見直しに向けた検討を行うとともに、関係機関との連携を継続して実施する。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						